

菊連協 理事 各位

日時：令和8年2月11日（水・祝）10時

場所：菊水地区会館

菊連協 令和8年2月定例理事会 議案

I. 行政からの連絡事項 <伊勢所長から>

II. 議 題

1. 総務部より

(1) 蠣崎会長からの報告

① 白石区町内連合会連絡協議会（2月定例会）内容について

・2月10日（火）14時～定例会の内容、及び引き続き開催された白石区民協議会運営委員会の内容について。

(2) 令和8年度役員改選に伴う新理事（候補者）の選任について

・令和8年度は役員改選期となるため、各連町においては新理事候補者3名（連町会長、女性部長、連町役員）の名簿を（別紙）にて2月末までにまちづくりセンターへ提出をお願いいたします。

3月理事会で「役員」人事（案）を協議したいと思います。

(3) 令和7年度住民組織助成金決算の見込みについて

・令和7年度住民組織助成金収入額（菊連事業）	1,558,680円
・支出額（令和8.1.31現在）	1,205,421円
・今後（1月～3月）の予定支出額（事務経費等）	70,200円
・執行残額見込み額	283,059円
・執行残額流用（案）	・事務局パソコン更新 250,000円 (Windows11対応、office,ウイルスソフト他)
	・国旗、市旗更新（2階ホール使用）他

(4) 令和8年 菊水地区新年互礼会の開催状況について（報告）

・1月10日（土）14時～菊水地区会館において、70名（来賓：15名、町内会：55名）の出席をいただき開催されました。

・収入（248,000円）－支出（244,758円）＝3,242円

2. 防災部より

3. 女性部より

Ⅲ、関連団体より

1. 菊水地区会館運営委員会から

2. 菊水地区福祉のまち推進センターから

3. まちづくりネットワーク会議から 1/25 1/29
1/29

4. 菊水地区民生委員・児童委員協議会から

5. 菊水地区青少年育成委員会から

次回、令和8年3月定例理事会を3月8日（日）10時～ 如何でしょうか？

Ⅳ、今後のスケジュール

月日	曜日	開始時刻	会議名称	開催場所等
2月12日	木	11:00	理事会議事録作成・配布	菊水地区会館
3月3日	火	10:00	総務部事務局会議	菊水地区会館
3月8日	日	10:00	菊連協3月定例理事会	菊水地区会館
3月9日	月	11:00	理事会議事録作成・配布	菊水地区会館
3月10日	火	13:30 15:00	菊連協 防災部会 福まち 役員会	菊水地区会館

以上

(別紙)

令和8年度 菊水町内会連絡協議会 新理事候補者の報告

連合町内会

※令和8年2月末までにまちづくりセンターへ提出願います。

役職名	氏名	住所	電話番号
会長			
女性部長			
連町役員			

白石区菊水町内会連絡協議会

《2月定例理事会》

日 時 令和8年2月11日（水祝）10：00～
会 場 菊水地区会館 会議室

○ 行政からの連絡事項

1 共同募金の実績等について

【資料1】

令和7年度共同募金の菊水地区の合計額は、607,822円となりました。
各町内会のみなさまのご協力に感謝申し上げます。

また、区共同募金から交付された地区活動費91,000円については、募金額に基づき各連町ごとに按分して配分します。

2 その他

(1) 町内会への防災資機材の購入補助制度について

【資料2】

1/30付で今年度の活用事例についての通知がありました。令和8年度の実施の詳細については、4月以降になる見込みです。

資料 1

令和7年度 共同募金状況及び活動費交付一覧

※ 活動費合計額

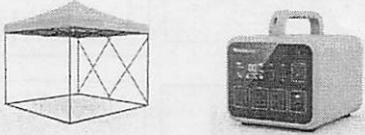
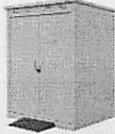
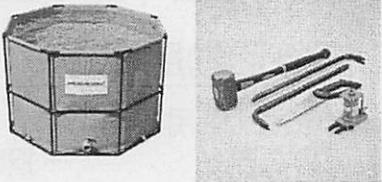
91,000 円

(単位：円)

地区	町内会より募金内容		合計	活動費交付額	備考
	町内募金分	法人分			
東	40,322	10,000	50,322	7,530	法/DM) (株)大熊商店 (菊水8-3)
西	165,800	5,000	170,800	25,570	法/DM) 西尾木材(株) (菊水2-1)
南	148,800	20,000	168,800	25,270	法/DM) 東亜産業(株) (菊水4-3) 法/DM) サンケミ (菊水4-3)
北	97,650	11,000	108,650	16,270	法/DM) (株)北炭ゼネラルサービス (菊水9-3) 法/DM) 昭和産業(株) (菊水7-2)
上町	54,250	0	54,250	8,120	
未加入	5,000	0	5,000	750	(菊水8条3丁目第1町内会)
	10,000	0	10,000	1,500	(クリーンリバー菊水上町町内会)
	25,000	15,000	40,000	5,990	(菊水4条1丁目町内会)
合計	546,822	61,000	607,822	91,000	

※ 令和7年度共同募金会より、91,000円の活動費が交付されました。

補助金の活用例

	購入内容	購入金額	補助金額	購入品イメージ
A町内会	大型簡易テント 1張 ポータブル蓄電池 1台	158,390円	79,000円	
B町内会	ヘルメット 40個	86,000円	43,000円	
C町内会	防災資機材保管庫 1戸	301,576円	100,000円	
D町内会	簡易水槽 1個 のこぎり 1本 ハンマー 1本 金てこ 1本 ジャッキ 1台	50,402円	25,000円	
E町内会	発電機 1台	261,000円	100,000円	

※購入品の画像はイメージです。実際に購入した物の画像ではありません。

購入品目の上位（申請件数115件）

- ①発電機（33件）
- ②テント（28件）
- ③ポータブル蓄電池（18件）
- ④リヤカー（13件）
- ⑤ヘルメット、保管庫（各9件）

防災資機材購入費補助制度の概要

自主防災組織が防災資機材を購入する費用の一部を補助する制度です。

※今年度の申請は終了しています。

補助金額	・補助対象経費の 1/2 ・上限 10 万円(1,000 円未満切り捨て)
対象経費	防災資機材の購入費用・設置費用(消費税込み) 〔・消耗品は 対象外 ・補助決定前に購入したものは 対象外 〕
補助金を申請できる団体	自主防災組織として登録している町内会(詳しくは裏面) ※1つの自主防災組織につき、同じ年度内に1回のみ申請 ※複数の町内会で自主防災組織を共同設置している場合、1つの自主防災組織として1回のみ申請

補助の対象となる防災資機材

以下の品目の購入総額が補助対象となります。

応急活動用資機材

【救助活動用】

- ・のこぎり
- ・ハンマー
- ・スコップ
- ・金てこ
- ・はしご、脚立
- ・救助工具セット
- ・担架
- ・ロープ
- ・リヤカー
- ・ジャッキ
- ・階段避難車
- ・おの
- ・かませ木

【救護活動用】

- ・救急箱
- ・車椅子
- ・AED

【消火活動用】

- ・消火用バケツ
- ・組立式簡易水槽
- ・消火器

災害時生活用資機材

- ・発電機
- ・ポータブル蓄電池
- ・投光器
- ・防水シート、ブルーシート
- ・簡易ベッド
- ・ストーブ等暖房器具
- ・簡易トイレ

その他

- ・ヘルメット
- ・資機材収納箱(カートやバッグ等も可)
- ・エレベーター用防災キャビネット
- ・テント
- ・防災資機材保管庫

申請から交付までの流れ

- 
- 申請書類の提出(自主防災組織)
 - 申請書類の審査・交付決定(札幌市)
 - 購入・実施報告書の提出(自主防災組織)
 - 補助金額の確定(札幌市)
 - 補助金の交付(札幌市)

市の助成による防災資機材の保管場所の確保が難しい場合、地域内にある公園や防火水槽用地へ保管庫を設置できる場合があります。詳しくは各区土木センター(公園)、各消防署(防火水槽用地)へ御相談ください。

※保管庫の設置には建築確認申請が必要となる場合があります。

防災資機材購入費補助制度の概要

自主防災組織が防災資機材を購入する費用の一部を補助する制度です。

※今年度の申請は終了しています。

補助金額	・補助対象経費の1/2 ・上限10万円(1,000円未満切り捨て)
対象経費	防災資機材の購入費用・設置費用(消費税込み) 〔・消耗品は対象外 ・補助決定前に購入したものは対象外〕
補助金を申請できる団体	自主防災組織として登録している町内会(詳しくは裏面) ※1つの自主防災組織につき、同じ年度内に1回のみ申請 ※複数の町内会で自主防災組織を共同設置している場合、1つの自主防災組織として1回のみ申請

補助の対象となる防災資機材

以下の品目の購入総額が補助対象となります。

応急活動用資機材

【救助活動用】

- ・のこぎり
- ・ハンマー
- ・スコップ
- ・金てこ
- ・はしご、脚立
- ・救助工具セット
- ・担架
- ・ロープ
- ・リヤカー
- ・ジャッキ
- ・階段避難車
- ・おの
- ・かませ木

【救護活動用】

- ・救急箱
- ・車椅子
- ・AED

【消火活動用】

- ・消火用バケツ
- ・組立式簡易水槽
- ・消火器

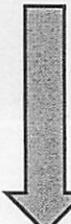
災害時生活用資機材

- ・発電機
- ・ポータブル蓄電池
- ・投光器
- ・防水シート、ブルーシート
- ・簡易ベッド
- ・ストーブ等暖房器具
- ・簡易トイレ

その他

- ・ヘルメット
- ・資機材収納箱(カートやバッグ等も可)
- ・エレベーター用防災キャビネット
- ・テント
- ・防災資機材保管庫

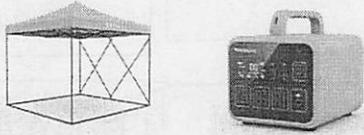
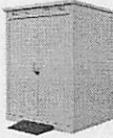
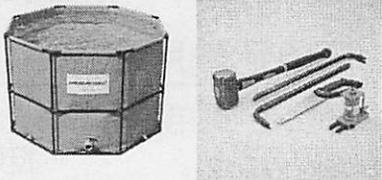
申請から交付までの流れ

- 
- 申請書類の提出(自主防災組織)
 - 申請書類の審査・交付決定(札幌市)
 - 購入・実施報告書の提出(自主防災組織)
 - 補助金額の確定(札幌市)
 - 補助金の交付(札幌市)

市の助成による防災資機材の保管場所の確保が難しい場合、地域内にある公園や防火水槽用地へ保管庫を設置できる場合があります。詳しくは各区土木センター(公園)、各消防署(防火水槽用地)へ御相談ください。

※保管庫の設置には建築確認申請が必要となる場合があります。

補助金の活用例

	購入内容	購入金額	補助金額	購入品イメージ
A町内会	大型簡易テント 1張 ポータブル蓄電池 1台	158,390円	79,000円	
B町内会	ヘルメット 40個	86,000円	43,000円	
C町内会	防災資機材保管庫 1戸	301,576円	100,000円	
D町内会	簡易水槽 1個 のこぎり 1本 ハンマー 1本 金てこ 1本 ジャッキ 1台	50,402円	25,000円	
E町内会	発電機 1台	261,000円	100,000円	

※購入品の画像はイメージです。実際に購入した物の画像ではありません。

購入品目の上位（申請件数115件）

- ①発電機（33件）
- ②テント（28件）
- ③ポータブル蓄電池（18件）
- ④リヤカー（13件）
- ⑤ヘルメット、保管庫（各9件）

2月27日（金）までに菊水まちづくりセンターへご提出ください

- ・開催日時：令和8年3月11日(水) 13:30～15:00
- ・開始場所：菊水地区会館 2階ABホール
- ・講師：白石記念病院 松村 茂樹 先生

「認知症講話会」参加申込書

※参加者名をご記入ください

	町内会名・団体名	参加者氏名	備考
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

◆お問合せ先
菊水まちづくりセンター
電話：011-811-9445 FAX：011-811-3831

認知症 講演会

もの忘れと認知症はどう違うのか？
早期に気付くにはどうしたらよいのか？
認知症になってもやさしい町づくりとは

当日のプログラム

- 認知症について～日本認知症学会認定専門医～
- 地域で認知症を支える活動について～オレンジコーディネーター～
～オレンジサポーター～
- 認知症予防・介護予防について ～介護予防センター～

2026 3月11日 水

参加無料
申込不要

時間 13:30-15:00

会場 菊水7条2丁目2-20
菊水まちづくりセンター2階

対象 福祉のまち推進委員
民生委員・児童委員



札幌白石記念病院
松村 茂樹先生

お問い合わせ

お問い合わせ 主催：白石区第2地域包括支援センター 共済：白石区役所保健支援係 介護予防センター菊水 011-837-6800 白石区社会福祉協議会

北海道を知ろう！伝えよう！！

令和8年度

北海道開拓の村ボランティア募集

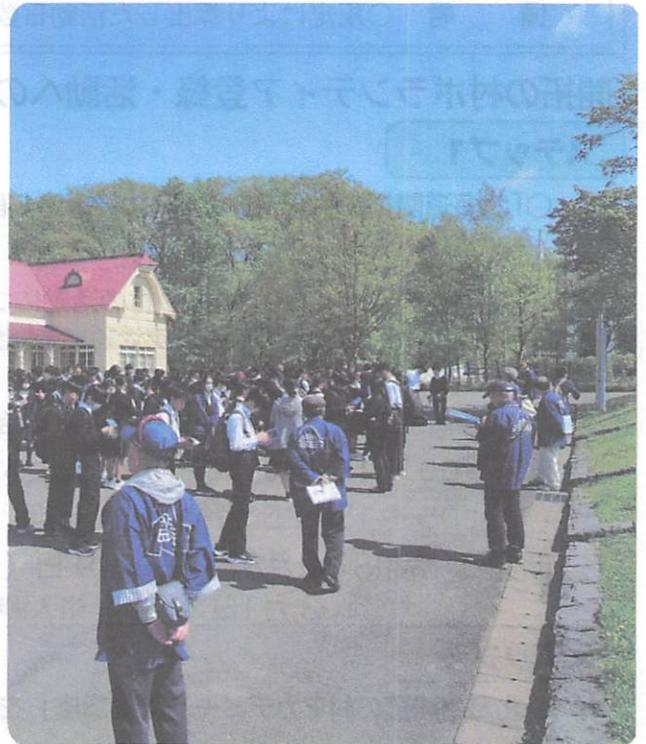


野幌森林公園の一角、歴史的建造物が立ち並ぶ北海道開拓の村で、解説案内や実演などの来場者サービスを行いながら生涯学習を楽しみましょう。

北海道開拓の村ボランティア体験講座

2月8日(日)、9日(月)、11日(水・祝)
3月1日(日)
各日10:30~15:25

参加費：入場料（65歳以上の方は無料です）
ご都合の良い日を選び参加をお申し込みください。



募集対象

18歳以上
日本語による会話（意思疎通）が可能な方
夏期 登録曜日に活動できる方（曜日内シフト制）

お問合せ
お申込みは

一般財団法人 北海道歴史文化財団 ボランティア担当

TEL 011-898-2692 FAX 011-898-2694 メールアドレス info@kaitaku.or.jp

〒004-0004 札幌市厚別区厚別町小野幌50-1 北海道開拓の村

市民から

文化力
POWER OF
CULTURE

北海道開拓の村ボランティアの活動

活動趣旨 ○北海道内の歴史的建造物が移築復元された北海道開拓の村で、解説案内や実演などの来村者サービスを行います。また、ボランティア活動に参加することで、仲間づくりと共に自己の生涯学習を深め、身近な地域や北海道をあらためて学びます。

活動内容 ○夏期活動 4月中旬から11月上旬まで
北海道開拓の村内の歴史的建造物及び北海道史の解説案内
展示建造物等での生活再現と来場者対応（体験事業補助含む）
わら細工、手刷り印刷、昔の巡査、漁網の繕い、蚕の飼育などの実演
○冬期活動 11月上旬から3月下旬まで（夏期活動中に希望者を募ります）
ガイドツアー・囲炉裏端解説
○外国語対応 通年
外国語登録者（現在は英語のみ）によるガイドツアー

対 象 ○18歳以上、日本語による会話（意思疎通）が可能であること

活動時間 ○9：45～16：20（冬期は9：45～15：15）
※ミーティングや準備時間を含む

活 動 日 ○特定の曜日に所属し、夏期活動では概ね1週間に1回活動します。
※行催事の協力や団体のガイドツアーなど、別途調整する活動があります。

備 考 ○規定により算出した活動日数分の交通費を後日支給します。

開拓の村ボランティア登録・活動への3ステップ

ステップ1

○「北海道開拓の村ボランティア体験講座」に参加

10：00～10：30 参加受付

10：30～12：00 開拓の村の活動について

開拓の村の概要とボランティア活動、その役割について紹介します。

13：00～14：00 ボランティア体験

実際に活動しているボランティアとともに活動体験を行います。

14：00～15：00 ボランティアによるガイドツアー

15：05～15：25 登録に関する説明

開催日 令和8年2月8日（日）、9日（月）、11日（水・祝）
3月1日（日） ※入場料が必要です。

ステップ2

○北海道開拓の村アカデミー「基礎講座」を受講

「基礎講座」を受講して、開拓の村でのボランティア活動についての基本的な知識を身に付けます。

※基礎講座は令和8年2月22日（日）、25日（水）、3月7日（土）に開催します。

各日 ①10：30～12：00 ②13：00～14：30

ステップ3

○登 録

体験講座参加者にお渡しする「北海道開拓の村ボランティア新規活動希望申し込み票」の提出と、基礎講座の受講により、令和8年度北海道開拓の村ボランティアへの登録となります。

活動開始後の学習支援

開拓の村でのボランティア活動に必要な移築復元・再現された数々の歴史的建造物の沿革や北海道開拓の歴史、自然環境に関する内容のほか、広く北海道の歴史や生活文化について理解を深めるための講座・研修に参加することが出来ます。

最初は先輩ボランティアと共に活動し、実践的な技術や知識を学びます。

お問い合わせ・お申し込み

開拓の村のボランティア活動に関するお問い合わせ、参加申込は下記にお電話ください。

ボランティア担当まで
011-898-2692



北海道開拓の村ボランティアの活動

活動趣旨 ○北海道内の歴史的建造物が移築復元された北海道開拓の村で、解説案内や実演などの来村者サービスを行います。また、ボランティア活動に参加することで、仲間づくりと共に自己の生涯学習を深め、身近な地域や北海道をあらためて学びます。

活動内容

- 夏期活動 4月中旬から11月上旬まで
北海道開拓の村内の歴史的建造物及び北海道史の解説案内
展示建造物等での生活再現と来場者対応（体験事業補助含む）
わら細工、手フット印刷、昔の巡査、漁網の織い、蚕の飼育などの実演
- 冬期活動 11月上旬から3月下旬まで（夏期活動中に希望者を募ります）
ガイドツアー・囲炉裏端解説
- 外国語対応 通年
外国語登録者（現在は英語のみ）によるガイドツアー

対 象 ○18歳以上、日本語による会話（意思疎通）が可能であること

活動時間 ○9：45～16：20（冬期は9：45～15：15）
※ミーティングや準備時間を含む

活 動 日 ○特定の曜日に所属し、夏期活動では概ね1週間に1回活動します。
※行催事の協力や団体のガイドツアーなど、別途調整する活動があります。

備 考 ○規定により算出した活動日数分の交通費を後日支給します。

開拓の村ボランティア登録・活動への3ステップ

ステップ1

○「北海道開拓の村ボランティア体験講座」に参加

10：00～10：30 参加受付

10：30～12：00 開拓の村の活動について
開拓の村の概要とボランティア活動、その役割について紹介します。

13：00～14：00 ボランティア体験
実際に活動しているボランティアとともに活動体験を行います。

14：00～15：00 ボランティアによるガイドツアー

15：05～15：25 登録に関する説明

開催日 令和8年2月8日（日）、9日（月）、11日（水・祝）
3月1日（日） ※入場料が必要です。

ステップ2

○北海道開拓の村アカデミー「基礎講座」を受講

「基礎講座」を受講して、開拓の村でのボランティア活動についての基本的な知識を身に付けます。

※基礎講座は令和8年2月22日（日）、25日（水）、3月7日（土）に開催します。
各日 ①10：30～12：00 ②13：00～14：30

ステップ3

○登 録

体験講座参加者にお渡しする「北海道開拓の村ボランティア新規活動希望申し込み票」の提出と、基礎講座の受講により、令和8年度北海道開拓の村ボランティアへの登録となります。

活動開始後の学習支援

開拓の村でのボランティア活動に必要な移築復元・再現された数々の歴史的建造物の沿革や北海道開拓の歴史、自然環境に関する内容のほか、広く北海道の歴史や生活文化について理解を深めるための講座・研修に参加することが出来ます。

最初は先輩ボランティアと共に活動し、実践的な技術や知識を学びます。

お問い合わせ・お申し込み

開拓の村のボランティア活動に関するお問い合わせ、参加申込は下記にお電話ください。

ボランティア担当まで
011-898-2692



北海道を知ろう！伝えよう！！

令和8年度

北海道開拓の村ボランティア募集

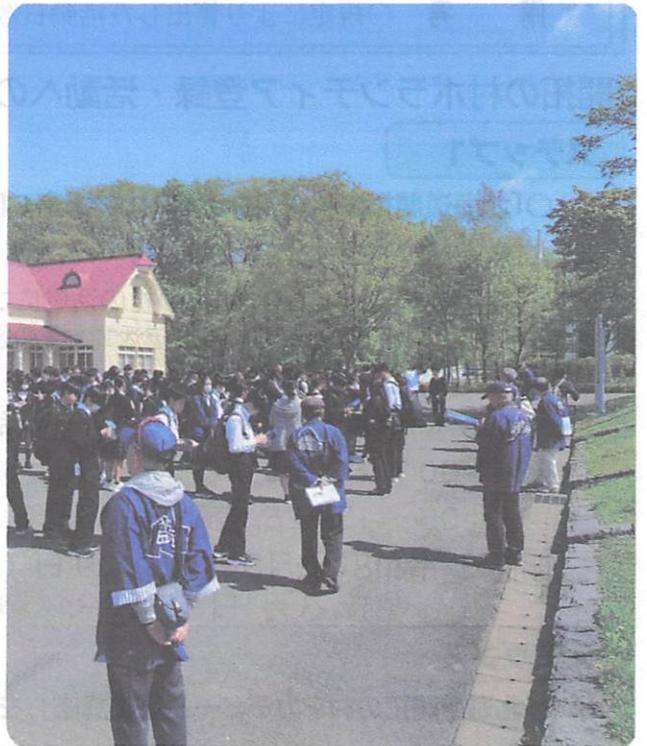


野幌森林公園の一角、歴史的建造物が立ち並ぶ北海道開拓の村で、解説案内や実演などの来場者サービスを行いながら生涯学習を楽しみましょう。

北海道開拓の村ボランティア体験講座

2月8日(日)、9日(月)、11日(水・祝)
3月1日(日)
各日10:30~15:25

参加費：入場料（65歳以上の方は無料です）
ご都合の良い日を選び参加をお申し込みください。



募集対象

18歳以上

日本語による会話（意思疎通）が可能な方

夏期 登録曜日に活動できる方（曜日内シフト制）

お問合せ
お申込みは

一般財団法人 北海道歴史文化財団 ボランティア担当

TEL 011-898-2692

FAX 011-898-2694

メールアドレス info@kaitaku.or.jp

〒004-0004 札幌市厚別区厚別町小野幌50-1 北海道開拓の村

市民から

文化力

POWER OF CULTURE

白石区町内連合会連絡協議会 2月会長会議

日時：令和8年2月10日（火）14時00分～

会場：白石区複合庁舎4階 講堂

【議題】

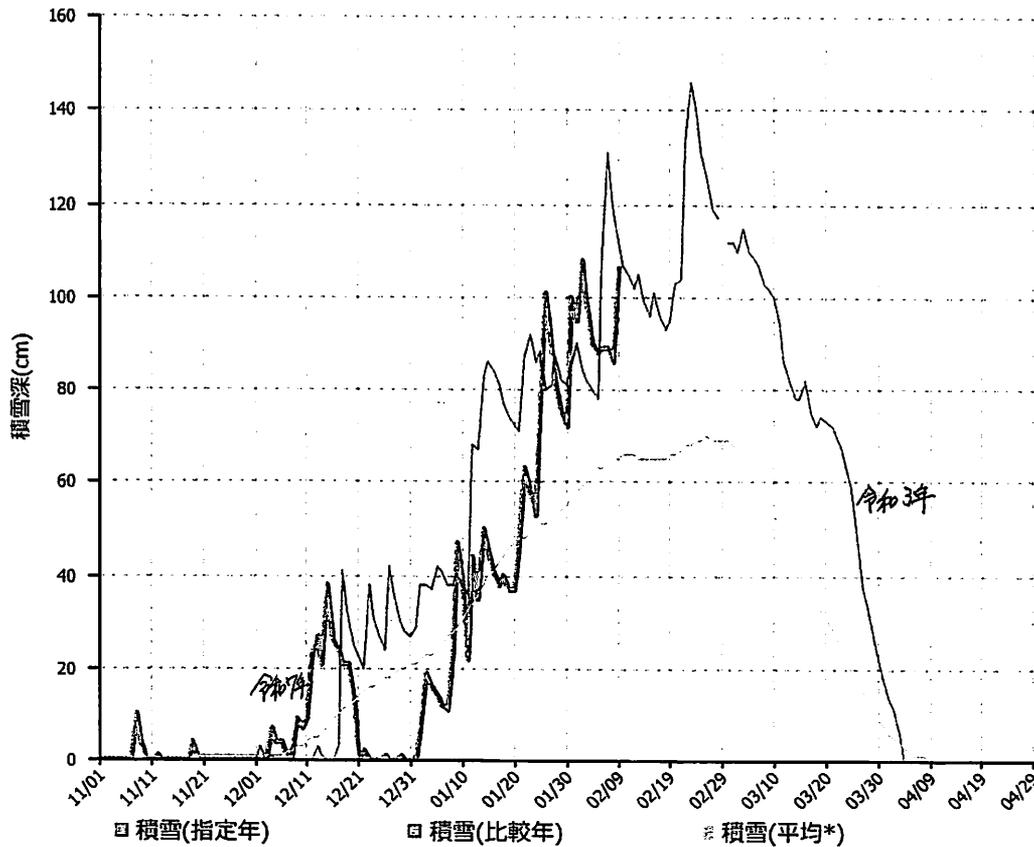
- 1 緊急排雪について（星野土木部長）
- 2 令和7年度事業報告（見込）、令和8年度事業計画（案）について
- 3 令和7年度収支決算報告（見込）、連町負担金、令和8年度収支予算（案）について
- 4 令和8年度の町連協、各種団体の役員（案）について
- 5 その他

印刷を開始する

積雪グラフ

2026/02/09 9:00現在 [指定:2025年度] [比較:2021年度] [地点:白石区土木センター]

積雪深(11月～4月)



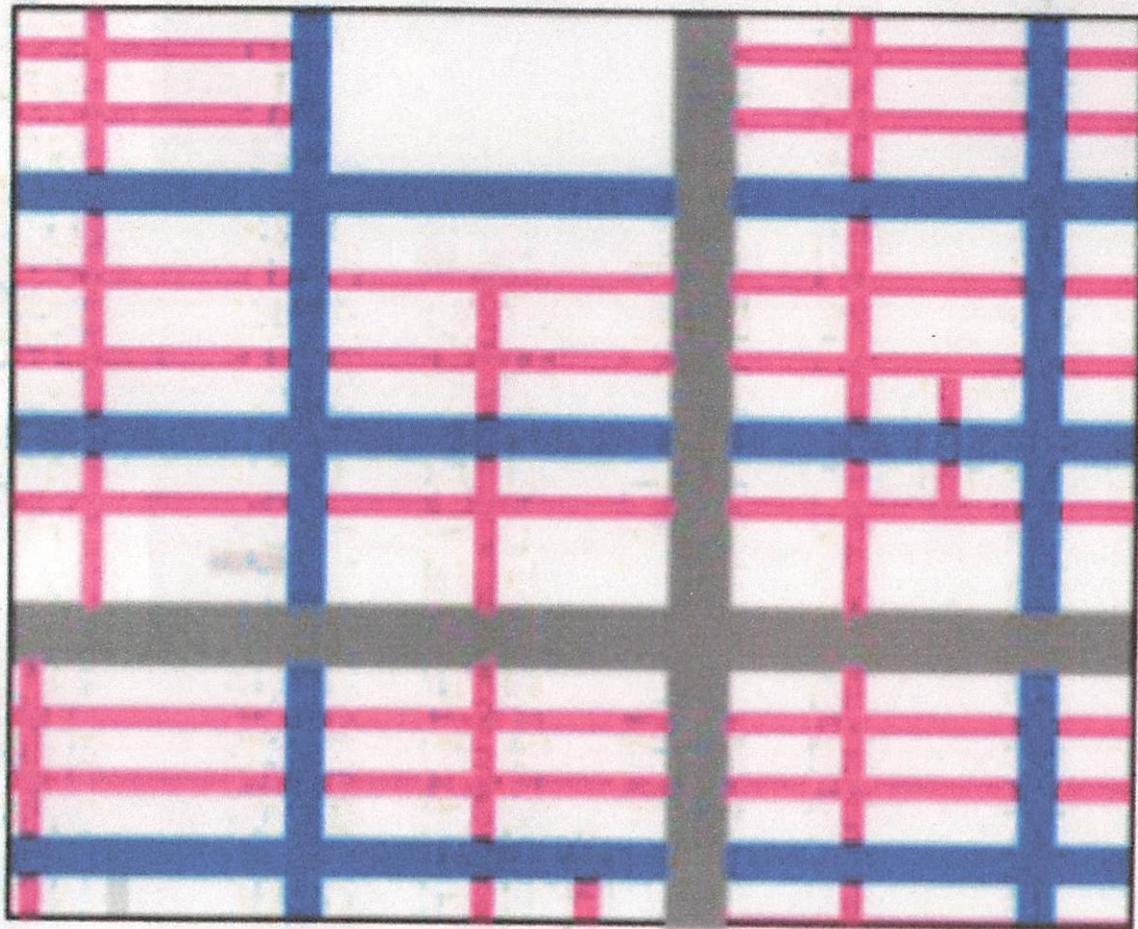
積雪深

指定: 2025年度 107cm 比較: 2021年度 112cm 平均* 65cm

*平均

- ・札幌市内の観測地点: 各区代表地点(土木センター)の5年平均(2020～2024年度)
拓北水再生プラザ、定山溪水再生プラザ、平和公園は各地点の5年平均(2020～2024年度)
- ・石狩市内の観測地点: 茨戸水再生プラザの5年平均(2020～2024年度)
- ・北広島市内の観測地点: 各地点の5年平均(2020～2024年度)
- ・その他の観測地点: 札幌管区気象台の平年値(1991年～2020年の30年平均)

生活道路の緊急排雪 イメージ図



生活道路の緊急排雪

・交通量が多く幅員の広い路線
⇒優先して作業を行う

・その他路線

幹線・バス路線等

令和8年1月29日

パートナーシップ排雪申込団体の皆様

白石区土木部維持管理課

【重要】パートナーシップ排雪の中止について (緊急排雪の実施)

1月24日から25日にかけての記録的な大雪により、生活道路の排雪が大幅に遅れることが見込まれています。そこで、今年度はパートナーシップ排雪をすべて中止し、札幌市による生活道路の緊急排雪を行います。

【緊急排雪の概要】

- パートナーシップ排雪の中止
⇒ 予定していた今年度のパートナーシップ排雪は中止となります。
⇒ 札幌市で排雪路線、路線にあわせた作業手法を決定するため、地域負担の費用は生じません。
- 今後のスケジュールについて
⇒ バス路線や幹線道路の対応終了後、生活道路の緊急排雪は2月上旬から順次実施予定です。
⇒ 町内会エリアにかかわらず、道路状況を見ながら作業を進めるため、作業日時等をお知らせすることは困難です。
- 排雪後の仕上がりについて
⇒ 今後の降雪や暖気のザクザクを見据えた雪の置き場所確保のため、スピード重視で必要最低限の排雪作業となります。従って、残る雪はパートナーシップ排雪よりも多くなります。

排雪作業や交通に支障となるため、道路への雪出しや路上駐車はおやめいただくようお願いいたします。

地域の交通機能を維持するための緊急措置につき、地域のみなさまにはご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

連絡先：白石区土木部維持管理課（白石区土木センター）

TEL 864-8125

FAX 864-4530

令和8年1月30日
白石区土木部維持管理課

【重要】大雪に伴う緊急排雪の実施について

1月24日から25日にかけての記録的な大雪により、生活道路においても交通が困難な状況が発生しております。そこで、例年は札幌市で排雪を行っていない道路も含め、生活道路の緊急排雪を行うこととなりました。

【緊急排雪の概要】

● 排雪作業について

⇒地域内において交通量が多く、幅員の広い生活道路を優先して排雪作業を実施していきます。

⇒ 今後の降雪や暖気のザクザクを見据えた雪の置き場所確保のため、スピード重視で必要最低限の排雪作業となります。

⇒ 排雪作業中は一時的に車の出入り等が困難となる場合があります

● 今後のスケジュール

⇒バス路線や幹線道路の対応終了後、2月上旬から順次実施予定

⇒町内会エリアにかかわらず、道路状況を見ながら作業を進めるため、作業日時等をお知らせすることは困難です。

※パートナーシップ排雪をお申込みだった場合

予定していた今年度のパートナーシップ排雪はすべて中止し、上記の通り、札幌市で生活道路の排雪を実施いたします。

排雪作業や交通に支障となるため、道路への雪出しや路上駐車はおやめいただくようお願いいたします。

地域の交通機能を維持するための緊急措置につき、地域のみなさまにはご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

連絡先：白石区土木部維持管理課（白石区土木センター）

TEL 864-8125

FAX 864-4530